



「彦根をあるこう！」

#ひこさんぽフォトコンテスト 結果発表！

Instagram と Facebook のアカウント「彦根市シティプロモーション」でフォトコンテストを実施しました。審査の結果、69 点の応募作品の中から、右記に掲載し

ている写真が入賞しました。
問い合わせ先 市シティプロモーション推進課
☎ 30-6143 ☎ 23-1916

～受賞者のコメント紹介～

a_nother_sea さん
「足軽に思いを馳せて…」
奥行きのある細い道、そこに落ちた影、連なる瓦屋根、それらのコントラストやバランスが心地よくてこの場所で撮影しました。再訪問時には通りすがりの方が地域の歴史を親切に教えてくださいとて勉強になりました。

suisuinote さん
「山の湯の煙突」
彦根で唯一残る銭湯、山の湯。廃業の知らせは突然で、すぐに現地へ。写真は廃業の挨拶文を見た後、中央商店街から撮影。140年の歴史に幕を閉じた山の湯ですが「煙突のある風景を記憶に残したい」そんな思いが詰まった一枚です。

shinji_photography_ さん
「色街情緒が色濃く残る」
昔ながらの花街情緒を醸し出す細い路地が気に入りこの場所を選びました。遊郭特有の弁柄格子や料理店の鑑札が残る家もあり印象的でした。誰もいない静けさと建物、看板などその場の空気感をシンプルに撮影しました。

tatsu8_5 さん
「街あかりに見える今昔」
灯籠に記載された多くの著名人の言葉で、特に心惹かれたのが写真の言葉でした。どこか懐かしさを感じる街並みの中にキラキラと輝くイルミネーションが今の時代を物語るようで、その情景を写真でキリトリました。

sachi6v6 さん
「天使のはしご」
生まれ育った彦根。琵琶湖にかかる天使のはしご。冬の太陽の温かさを感じました。

mar310lady さん
「冬の朝 国宝から一望」
朝ランニングで彦根の四季折々を楽しんでいます。冬の朝は毎朝、気合も要りますが快晴の朝は、彦根城へ行こうと走り始め天守で、伊吹山と琵琶湖と朝陽に包まれ 深呼吸するのが国宝級の贅沢です。

muchimuchishiochanko さん
「連れて行ってくれるかい？」
お正月に彦根城を訪れた際に撮った写真です。寒さの中、春を待つように咲く二季咲桜に手を伸ばし、わたしも一緒に春へ連れて行ってと願う気持ちを写した一枚です。

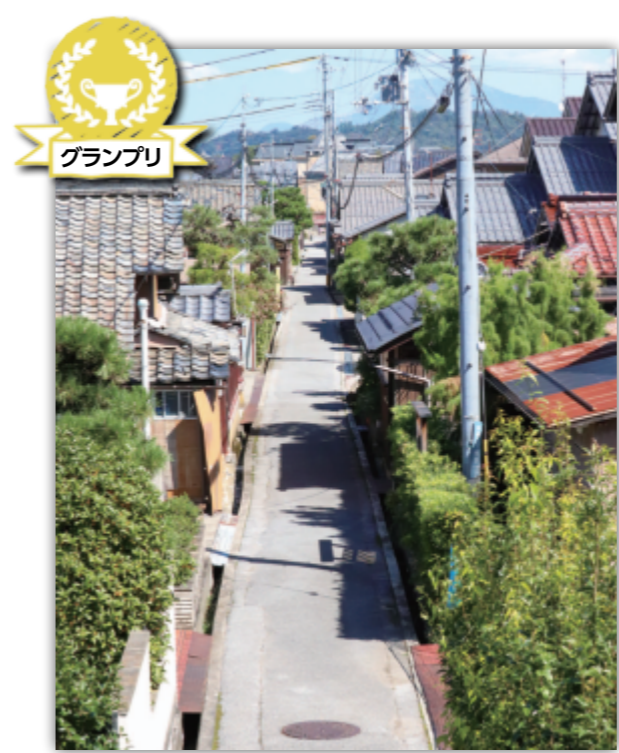


作品展示風景



受賞作品は、3月13日～同23日まで、ビバシティ彦根で展示を行いました。作品のほか、彦根のいいなと思うところを付箋に書いて貼るコーナーや、情報発信サイト「Good Roots HIKONE」の紹介も行いました。

「昔の彦根」部門



▲ a_nother_sea さん「足軽に思いを馳せて…」



◀ suisuinote さん「山の湯の煙突」



▶ shinji_photography_ さん「色街情緒が色濃く残る」

「今の彦根」部門



◀ sachi6v6 さん「天使のはしご」



▲ tatsu8_5 さん「街あかりに見える今昔」



◀ muchimuchishiochanko さん「連れて行ってくれるかい？」



▶ mar310lady さん「冬の朝 国宝から一望」